



広島環境サポーターネットワーク

私達は広島地球ウォッチングクラブ(こどもエコクラブ)では自然の大切さを伝え、公民館や小中学校では環境出前講座を実施。また、自然環境の継続調査などの環境保全活動や行政と協働しての環境イベントなどにも参加をする市民環境ボランティア団体です。

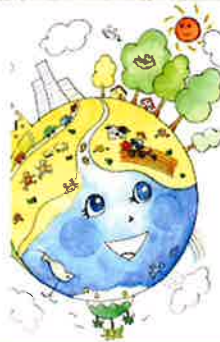
活動風景

広島地球ウォッチングクラブ

環境出前講座(小学校)



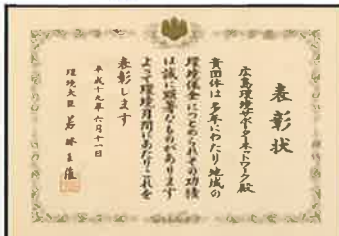
平成21年4月15日マツダ財団支援金贈呈式



環境イベント



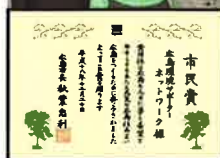
平成19年6月11日環境大臣表彰受賞



平成18年6月3日
ひろしま環境賞受賞



平成18年12月20日
広島市民表彰(市民賞)受賞



広島環境サポーターネットワークのホームページ

<http://hiroshimakankyonet.com/>

このパンフレットは財団法人マツダ財団より市民活動支援をいただき作成しています。

広島環境サポーターネットワークは、森林・河川・海洋・生活・国際交流の5つの部会がそれぞれの分野で環境保全活動を行っています。自然を愛し、季節を感じ、地球環境を大切に、楽しく活動しています。

★森林部会★

冬季(12月～3月)は、大峰山麓の雑木林を借り受け、研修林としています。間伐・整備することで森の生態系の変化が実感できる場です。

春～秋のシーズンは県内各地に出向き植物を主とした自然観察会を実施し、会員の研鑽の場となっています。

植物の不思議を観察することで、生き物の多様性を学び、地球環境に果たす人間の役割を考察する場となっています。



★河川部会★

平成8年(1996年)より太田川放水路の4箇所で見生生物調査などの定点観測を年3回しています。底生動物調査や水分析(COD・全リン・全窒素)を調査し毎年記録をまとめ冊子にして、環境省や県や市、大学へ報告しています。

干潟ではたくさんの生き物がいっぱい。希少種のハクセンシオマネキに出会った時などは感激! その他、地域を限定してホタルを飼育して放流しています。



★国際交流部会★

広島市に訪れるアジア圏からの研修生の方々との交流を通して「相互理解」を深めています。主に環境問題を柱にゴミ問題など各国の行政現場が抱えている課題や取り組みについて意見交換をしています。



★海洋部会★

平成10年(1998年)から元宇品海岸で生き物調査を行い、生物の変化や水質の状況を確認し記録をしています。最近では、カメノテ、オオヘビガイ、ウミトラノオなども発見され少しずつきれいになっているのが判ります。

(カメノテ)



★生活部会★

ゴミやリサイクルといった生活に結びついている問題を中心に活動しています。マイバックやマイはし運動を中心にゴミ減量への取り組みをしています。また、環境イベントでの「環境劇」では、もったいないや自然の大切さ、地球温暖化をテーマに、市民にわかりやすくエコライフを提言しています。



★発足のいきさつ★
平成7年(1995年)12月、広島市環境局主催「広島市環境サポーター養成講座」を修了した人たちが集まって、広島環境サポーターネットワークが発足しました。翌年からは、太田川放水路での環境調査活動を開始し(河川・海洋部会)、機関誌「環境サポーター通信」を発刊。平成9年(1997年)からは大峰山での森林整備(森林部会)。平成10年(1998年)には台所から環境を考える生活部会、平成12年(2003年)からは海外の研修生との交流活動を行う国際交流部会がそれぞれスタートしました。
平成20年(2009年)4月末現在で、大学生から80代までの会員約650名が登録し、部会に所属して専門的に取り組んでいます。ネットワーク全体で取り組んでいる事業としては、広島市が主催する、こどもエコクラブ「広島地球ウォッチングクラブ」です。干潟観察、里山観察などを通じ自然の大切さや地球環境について伝えていきます。また、公民館や小中学校での総合的学習で、出前環境講座を実施。地域の川での水生生物調査、太田川上流探検、身近な廃材を有効活用するリサイクル工作など、